

## 令和4年度産業標準化事業表彰 産業技術環境局長表彰を受賞

### ～医用モニタ品質管理の国際標準化に貢献～

この度、当工業会から令和4年度産業標準化事業表彰<sup>※1</sup>に推薦しました、太田 尚志氏(EIZO株式会社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛 祥隆)が令和4年度 産業技術環境局長賞を受賞されましたので、お知らせします。

当工業会は、日本及び JIRA 活動の優位性を確保するために、世界的な標準化、国際規格の動向を調査し、重要課題を早期に把握することで戦略的に標準化活動を進めております。そのためには、海外主要国とも互角に渡り合い、国内外を含めて標準化を主導的に推進できる人材は必要不可欠です。

今回、産業技術環境局長賞を受賞された太田氏は、国際標準化活動に際し、40 歳未満(開始時)かつ 3 年以上の活動期間において大きな功績をあげられ、今後とも継続的に活動が期待できるとの理由から当工業会で推薦を致しました。

当工業会では、将来の標準化活動のリーダーを育成し、若手の参加を促すことを優先課題として取り組んでいく所存です。

会員企業の皆さまにおかれましても、当工業会活動に賛同頂き、より一層のご支援ご協力賜りたくよろしくお願い申し上げます。



### 令和4年度 産業標準化事業表彰式

経済産業省

令和4年10月24日

畠山 産業技術環境局長(左) と 太田氏(右)

## 【主な功績】

太田氏は、当工業会の標準化部会に所属し、2018年より国際的な医用モニタの品質管理基準の必要性を提案し、ワーキンググループ(WG)であるIEC/TC62<sup>※2</sup>(医用電気機器)/SC62B<sup>※3</sup>(医用画像診断装置)/WG51<sup>※4</sup>(画像表示装置)にWGセクレタリ兼エキスパートとして参加されてきました。

その中で過去に否決された国際的な医用モニタの品質管理基準の必要性を再提案し、他国エキスパートとの議論をリードすることにより、IEC62563-2(医用モニタの受入試験と不変性試験)の制定に尽力されました。その結果、医用モニタの品質管理を行っていなかった国にも適切な評価基準が示され、安心・安全な画像診断環境の提供と医療の質の向上に繋がることが期待されます。

- ※ 1 産業標準化事業表彰制度は、国際標準化機構(ISO)や国際電気標準会議(IEC)における国際標準策定や、国内規格(JIS)策定といった標準化活動に優れた功績を有する個人や組織を表彰するもの
- ※ 2 IEC/TC62 医療用の電気機器、ソフトウェア、システムに関わる国際標準を開発するIECの技術委員会
- ※ 3 IEC/SC62B 画像診断用の装置、ソフトウェア、システムに関わる国際標準を開発するIECの分科委員会
- ※ 4 IEC/WG51 医用画像表示装置に関わる国際標準を開発するIECのワーキンググループ

## ●経済産業省 ニュースリリース

<https://www.meti.go.jp/press/2022/10/20221021001/20221021001.html>

2022年10月27日